

地域公共交通の再編について

(令和7年4月)

1 再編に向けた課題の整理（令和5年度第2回協議会より）

■財源の限られる中、公共交通の適正な運行規模の設定

- ・コミュニティバス、乗合タクシーの運行に係る市補償額の削減
- ・ニーズや利用実績を踏まえた運行計画の設定
- ・地域公共交通全体の効率性の向上（A I オンデマンド交通本格運行時）

■コミュニティバス利用者の少ない地域の移動手段の確保

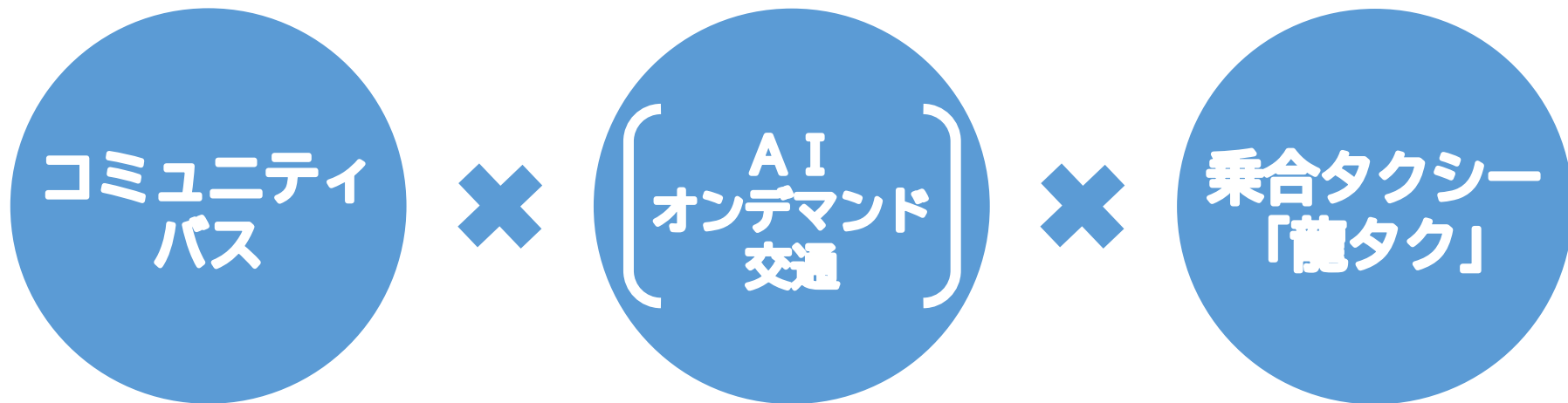
- ・A I オンデマンド交通 利用実績等を踏まえた本格運行の検討
- ・ニーズや利用実績を踏まえた運行計画の設定（再掲）

■2024年問題や新たな移動ニーズへの対応

- ・運転士不足の状況や改善基準告示の改正内容を考慮した運行計画の設定

2 再編の方向性（令和5年度第3回協議会より）

- 1 路線バスや鉄道の利用が難しい地域への交通サービスの提供
- 2 日中時間帯の買い物通院需要への対応
- 3 市内の小・中学校及び高等学校への通学帰宅需要への対応



3 市が運行する各地域公共交通の整理

	コミュニティバス			A I オンデマンド交通			乗合タクシー「龍タク」		
役割	・民間交通サービスの運行していない地域を補完 ・地域間相互の連携強化、交流促進 ・移動制約者の交通手段 ・人口集積地や主要施設を中心に運行			・コミュニティバスのうち、<u>利用の少ない枝線(東部地域)</u>の代替手段として、同等の役割を担う			・他の公共交通が運行していない地域にお住まいの方や、バス停留所までの移動が困難な方の移動手段 ・公共交通空白地域の解消		
	・日中時間帯の買い物・通院需要への対応 ・市内の小・中学校及び高等学校への通学・帰宅需要への対応						・バス停までのご移動が難しい方へのセーフティネットとしての移動手段		
性質	即時性▲	定時性◎	輸送量◎	即時性◎	定時性▲	輸送量▲	即時性▲	定時性○	輸送量▲
	料金◎	停留所数○	乗降▲	料金◎	停留所数◎	乗降○	料金○	停留所数▲	乗降◎
料金等利用	1乗車100円 手帳所有者等50円 小学生50円・未就学児無料			1乗車300円 手帳所有者等150円 小学生100円・中高生200円			1乗車500円 手帳所有者等250円・未就学児無料		

※利用料金等については、パブリックコメント等を経て、運賃協議会において審議

4 運賃設定の考え方

	コミュニティバス			A I オンデマンド交通			乗合タクシー「龍タク」		
性質	即時性▲	定時性◎	輸送量◎	即時性◎	定時性▲	輸送量▲	即時性▲	定時性○	輸送量▲
	料金◎	停留所数○	乗降▲	料金◎	停留所数◎	乗降○	料金○	停留所数▲	乗降◎
運賃設定の考え方	(1)運行経費の圧縮(見込み) (2)一部路線の廃止や便数減少、 運行時間短縮等の実施 (3)軸となる公共交通として、 親しみやすく利用しやすい 環境づくり → 1 乗車 1 0 0 円			(1)実証実験と同様の運賃設定 (2)即時性、速達性が高い (3)コミバスとの差別化を図ることで、 混雑時等の利用の分散化を促進 → 1 乗車 3 0 0 円			(1)自宅までの送迎 (2)市全域を運行 (3)他の公共交通との差別化を 図ることで、利用の分散化を促進 → 1 乗車 5 0 0 円		

5 市内公共交通の運賃設定（イメージ図）

■市全域の移動

乗合タクシー「龍タク」 (500円)

■東西・JRへの移動

関東鉄道路線バス (210円)

※昼間割引適用時上限

関東鉄道竜ヶ崎線 (230円)

■東部地域

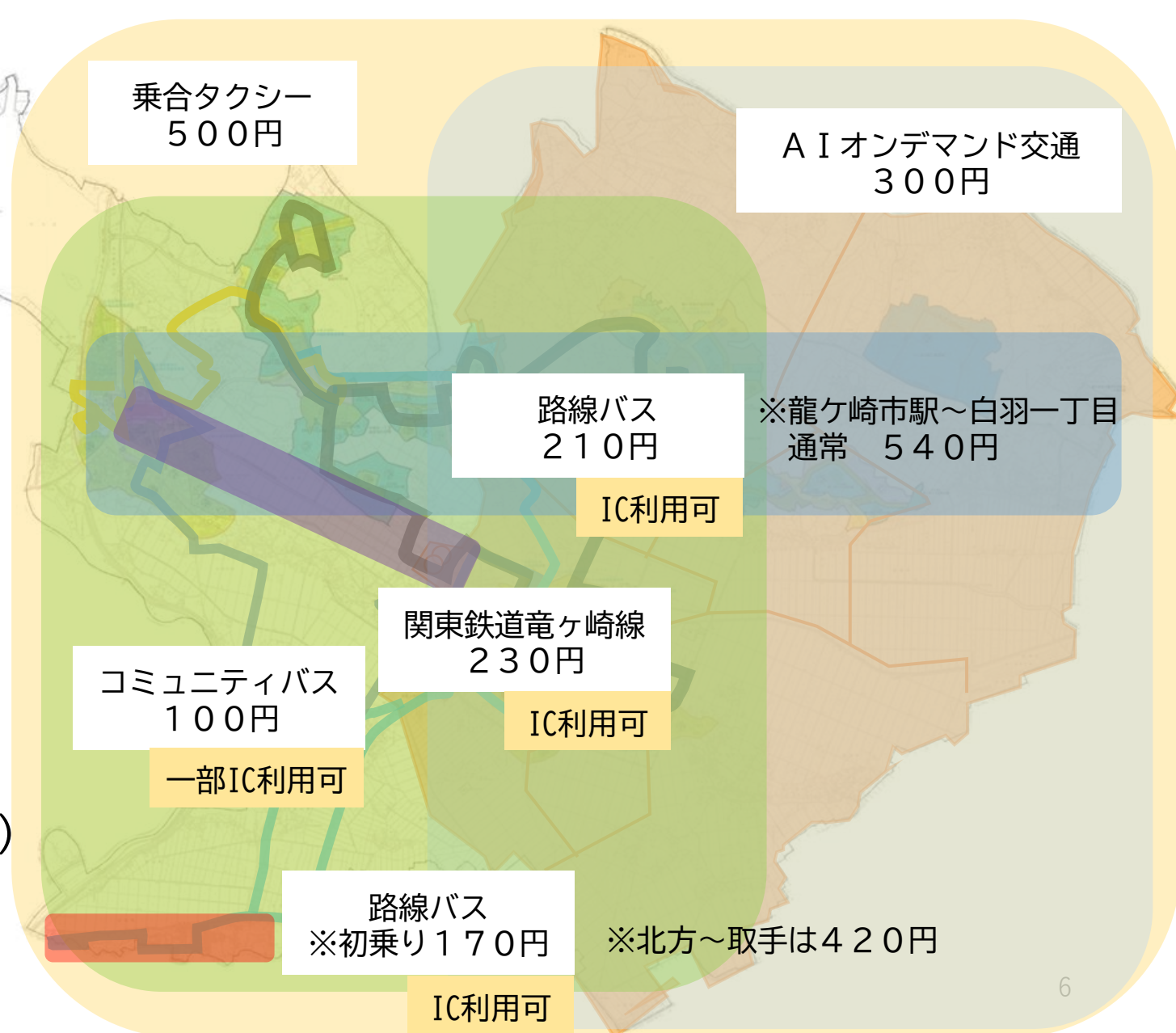
A I オンデマンド交通 (300円)

■市中心部・西部地域

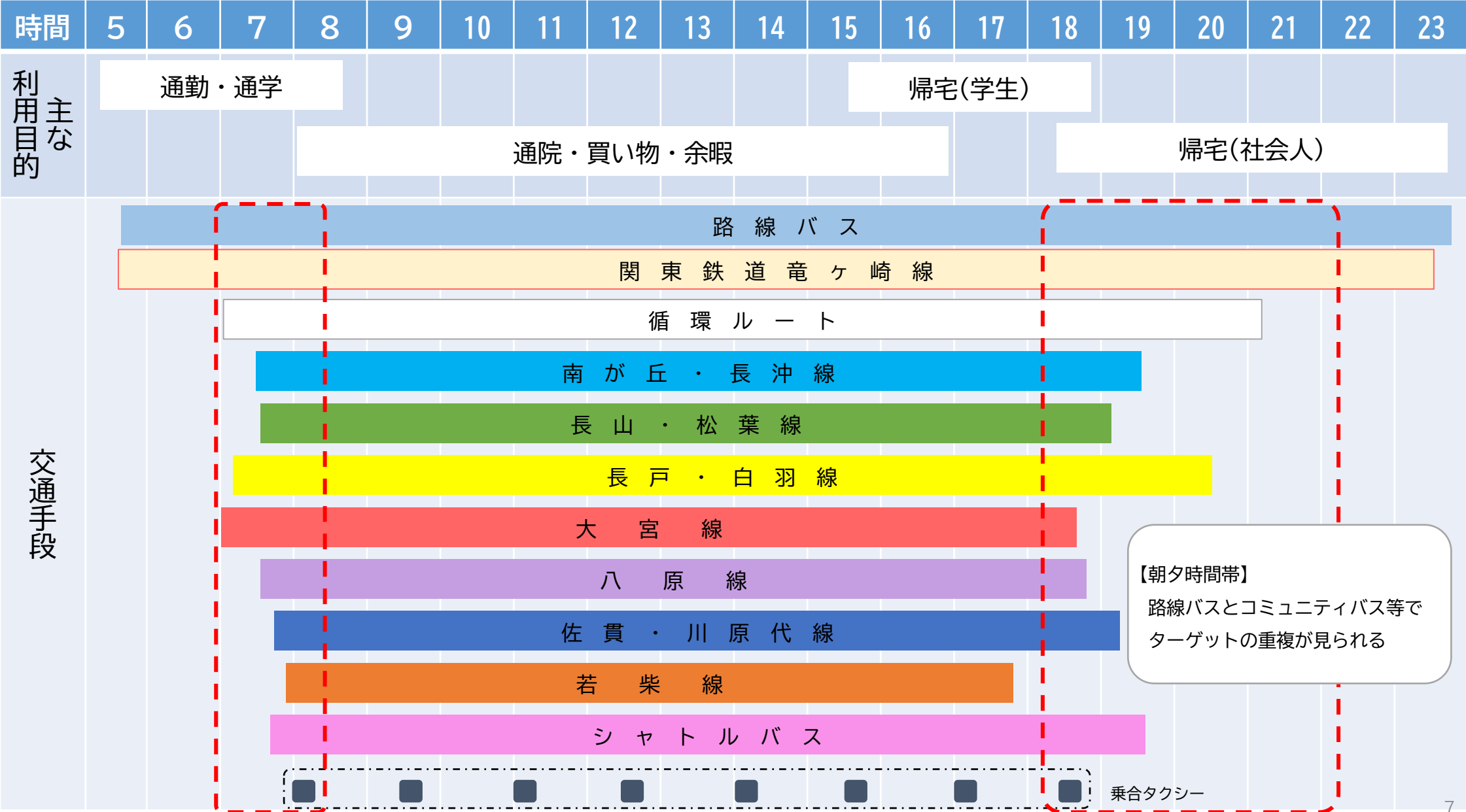
コミュニティバス (100円)

大利根交通自動車路線バス (170円)

※初乗り運賃

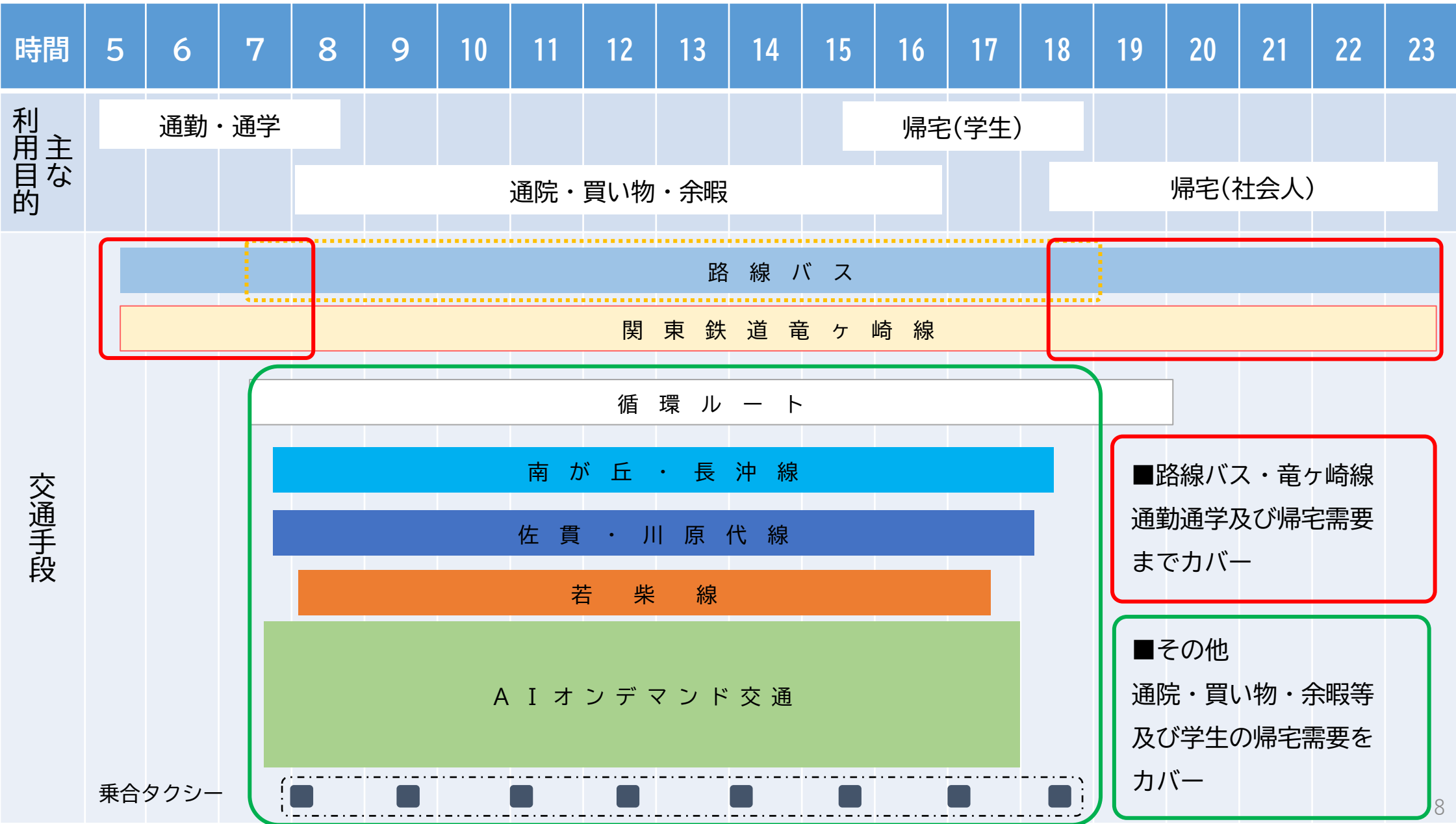


6 時間帯による役割の比較（再編前）



【朝夕時間帯】
路線バスとコミュニティバス等で
ターゲットの重複が見られる

6 時間帯による役割の比較（再編後）



■路線バス・竜ヶ崎線
通勤通学及び帰宅需要
までカバー

■その他
通院・買い物・余暇等
及び学生の帰宅需要を
カバー

7 AI オンデマンド交通 運行内容

■運行エリア

実証実験と同等のエリアを対象

市東部地域のコミュニティバスとの代替により、効率性を確保

■運行時間

午前7時30分～午後6時

他のコミュニティバス運行時間との整合性を確保

■運行台数

2台

ワゴン型車両＋セダン型車両の運行として調整

■乗降ポイント

280箇所(予定)

実験時の停留所兼用箇所を整理 ・ 一部停留所の追加

■予約方法

電話、アプリ、市公式LINE、インターネット

■支払方法

現金、クレジットカード（アプリ内決済）

8 AI オンデマンド交通 運行内容

■運行エリア図(右図)

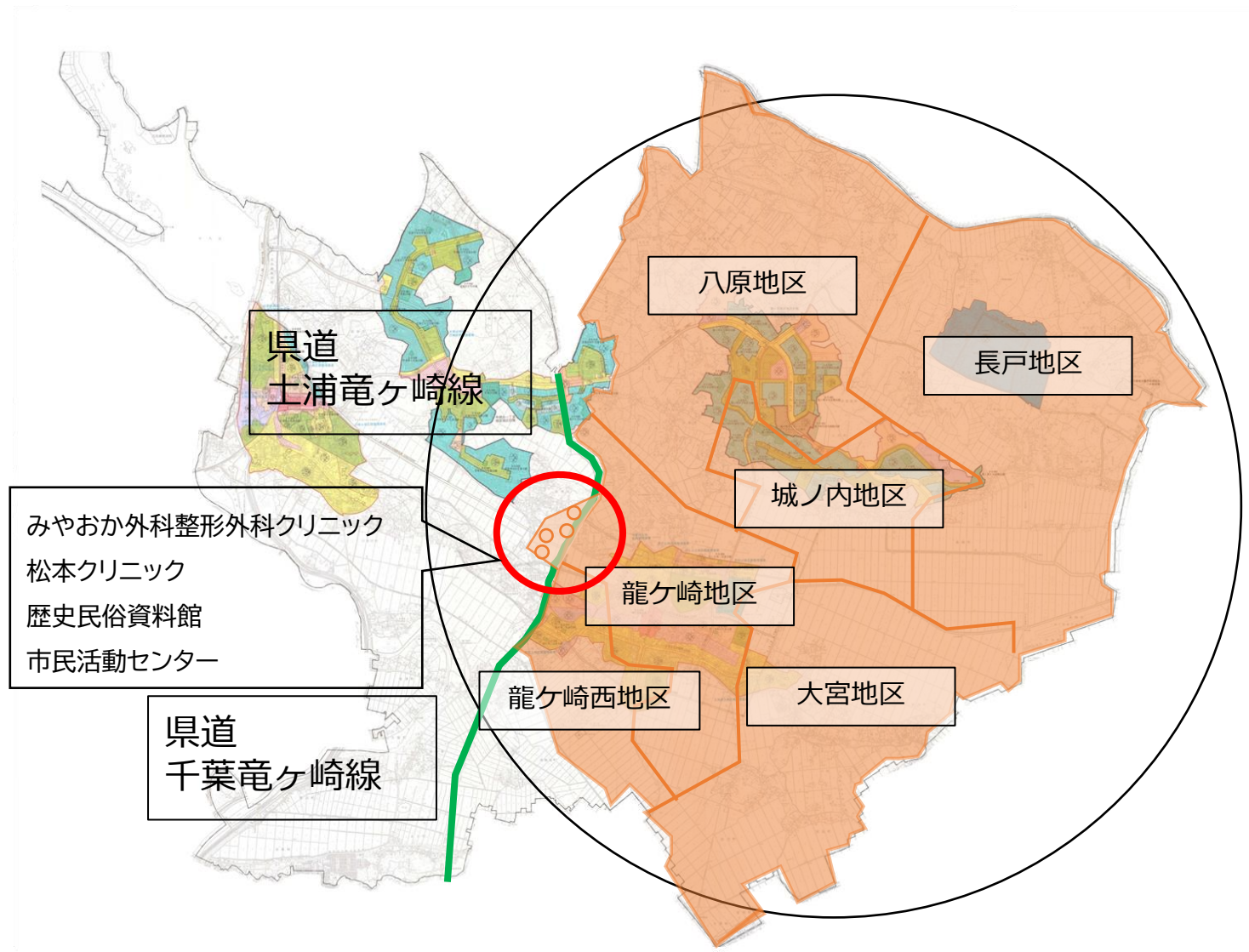
- ・実証実験エリアを軸に、
みよおか外科整形外科クリニック
松本クリニック市民活動センター
市民活動センター
歴史民俗資料館 を追加

■追加理由

- (1)既存コミュニティバス等の停留所がなく、当該施設への移動手段が確保されていないこと
- (2)地域公共交通計画に位置付けている評価指標「市内の高等学校等への停留所整備率」の向上に寄与すること
- (3)利用者・地域住民からの要望が上がっていること
- (4)実証実験エリアと隣接していること

■乗降ポイント図

- ・別紙3のとおり



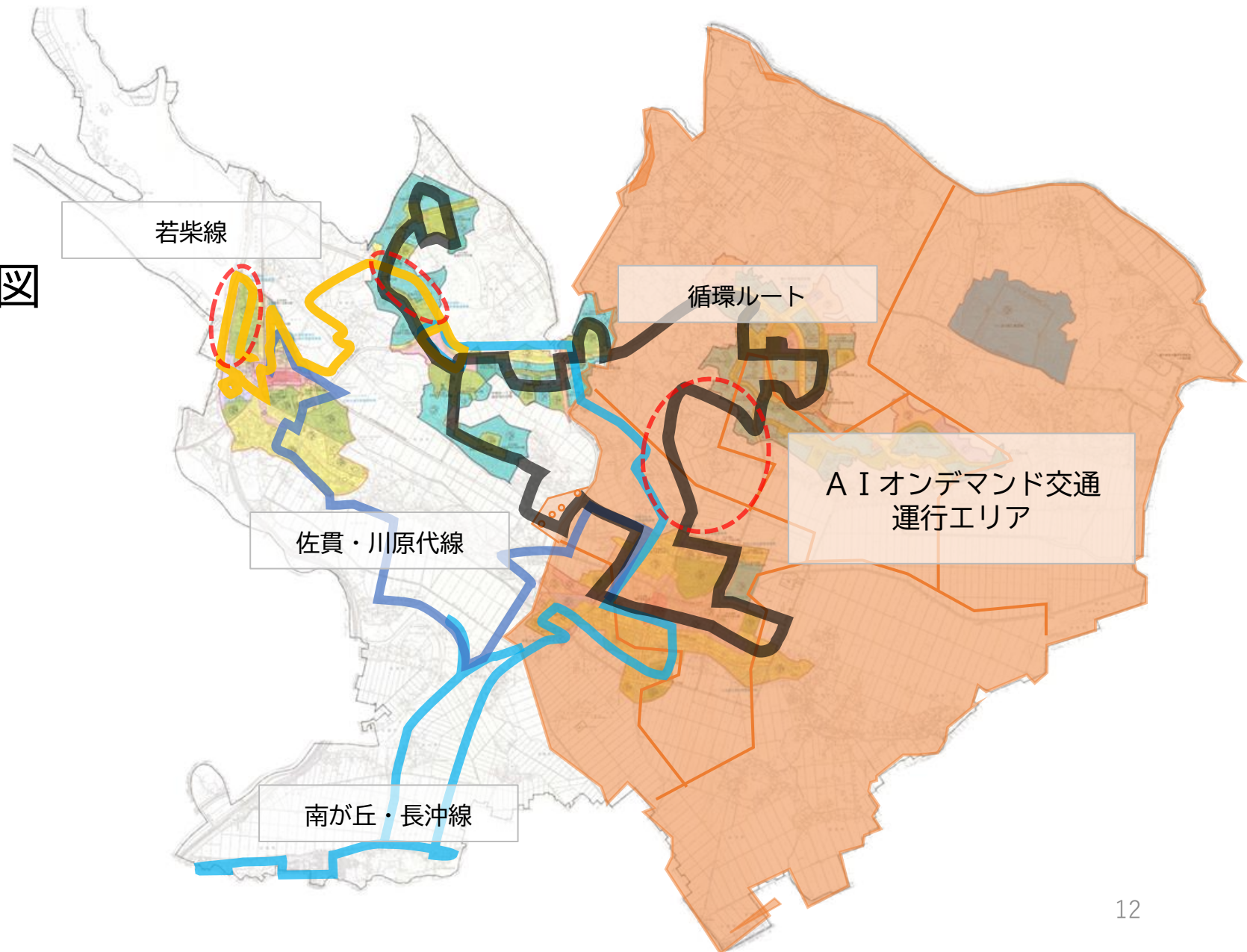
9 運賃設定の考え方（A I オンデマンド交通）

	A I オンデマンド交通		
性質	即時性◎	定時性▲	輸送量▲
	料金◎	停留所数◎	乗降◎
料金等	1乗車300円(手帳所有者等半額) 中高生200円(学生証提示) 小学生100円・未就学児無料		
運賃設定の考え方	(1)実証実験の運賃設定 (2)即時性、速達性が高い (3)コミバスとの差別化を図ることで、 混雑時等の利用の分散化を促進		
	→ 1乗車300円		

コミュニティバス			乗合タクシー「龍タク」		
即時性▲	定時性◎	輸送量◎	即時性▲	定時性◎	輸送量▲
○基本運賃 300円			小学生100円、中高生200円、 手帳所有者等150円、未就学児無料		
1乗車100円(手帳所有者等半額) 小学生半額・未就学児無料			1乗車300円(手帳所有者等半額) 未就学児無料		
(1)運行経費の圧縮(見込み)			(1)自宅までの送迎		
※小学生をはじめとした通学利用者については、優先的に予約が 確保できるような手法を検討					
→ 1乗車100円					

■コミュニティバス路線図
右図のとおり

■停留所位置図
別紙2のとおり



■循環ルート

- ・ 関東鉄道竜ヶ崎駅を起点に、市役所・済生会病院・サプラスクエアサプラといった主要施設を結ぶ
- ・ 主要施設(交通結節点)を循環することで、市中心部の回遊性を確保
- ・ 運行ルートは現行をベースに、長山地区を追加し、要望の多い済生会病院への移動に対応
- ・ 竜ヶ崎一高下～城ノ内1丁目間のルートを変更し、より住宅の張り付きの多い地域を運行(調整中)

■佐貫・川原代線

- ・ 運行ルートは現行を維持し、佐貫・川原代地区～市中心部の通勤・通学需要に対応
- ・ 総合福祉センターへのアクセスを維持し、福祉需要にも対応
- ・ J R 龍ヶ崎市駅(市外)から、移動需要の多い市役所・文化会館へのアクセスを維持

■南が丘・長沖線

- ・ 運行ルートは現行をベースに、市役所～サプラスクエアサプラを追加し、行政施設・商業施設への移動に対応
- ・ 茨城県立竜ヶ崎南高等学校へのアクセスを維持し、通学需要に対応
- ・ 奈戸岡、富士見住宅をルートに加え、周辺住民の移動性を確保
- ・ 旧長山・松葉線を循環ルート及び南が丘・長沖線と統合し、要望に対応しつつ効率性を確保

■若柴線

- ・ 運行ルートに佐貫町地区を追加
- ・ J R 龍ヶ崎市駅西口へのアクセスを維持し、駅西側住民の移動に配慮
- ・ 需要の多いサプラスクエアサプラへのアクセスを維持しつつ、一部ルートを変更し路線バスとの重複回避
- ・ 佐貫・川原代線ではカバーできないエリアを運行することで、佐貫地区・若柴地区の移動環境を向上

10 コミュニティバス運行計画 再編

■コミュニティバス運行ダイヤ

別紙1のとおり

■主な変更点

○循環ルート

便 数 各20便 → 各13便

運行時間 7時台～21時台 → 7時台～20時台

ル ー ト 現行をベースに、長山・城ノ内地区を追加

○南が丘・長沖線

便 数 9便 → 6便

運行時間 7時台～19時台 → 7時台～18時台

ル ー ト 現行をベースに、長山・松葉線と統合

○佐貫・川原代線

便 数 7便 → 6便

運行時間 7時台～19時台 → 7時台～18時台

ル ー ト 現行の運行ルートを維持

○若柴線

便 数 7便 → 6便

運行時間 7時台～17時台 → 8時台～17時台

ル ー ト 現行をベースに、佐貫町地区を追加



- ・ 需要を踏まえた運行時間・運行本数の縮小
- ・ 一部ルートの統合により、運行の効率化を図る

11 運賃設定の考え方（コミュニティバス）

	コミュニティバス		
性質	即時性▲	定時性◎	輸送量◎
	料金◎	停留所数○	乗降▲
料金等	1乗車100円(手帳所有者等半額) 小学生半額・未就学児無料		
運賃設定の考え方	(1)運行経費の圧縮(見込み) (2)一部路線の廃止や便数減少、 運行時間短縮等の実施 (3)軸となる公共交通として、 親しみやすく利用しやすい 環境づくり → 1乗車100円		

AI オンデマンド交通			乗合タクシー「龍タク」		
即時性◎	定時性▲	輸送量▲	即時性▲	定時性○	輸送量▲
料金◎	停留所数◎	乗降○	料金○	停留所数▲	乗降◎
○基本運賃 100円(小学生・手帳所有者等50円、未就学児無料)			○小学生・手帳等所有者回数券 500円(10枚つづり)		
○乗越券 無料(循環ルートでの竜ヶ崎駅乗越の際に発行)			○乗越券 500円(10枚つづり)		
→ 1乗車300円			→ 1乗車500円		

11 運賃設定の考え方（コミュニティバス）

■運賃体系（案）

（再編前）

項目	金額	概要
基本運賃	200円	小学生100円 手帳所有者50円 未就学児無料
回数券	2,000円	11枚つづり
手帳所有者回数券	500円	10枚つづり
おたっしゅパス (コミバス限定)	3,000円～ 14,400円	65歳以上対象 (1・3・6か月)
おたっしゅパス (コミバス・路線バス共通)	4,000円～ 24,000円	70歳以上対象 (1・3・6か月)
通学定期券	4,000円～ 33,600円	通学利用者対象 (1・3・6・12か月)
乗継券	無料	乗継移動が必要な際に発行
乗越券	無料	循環ルートで竜ヶ崎駅を 乗り越す場合に発行
1日乗車券	400円	
ランドセル チケット	500円	通学利用する小学生を 対象

（再編後）

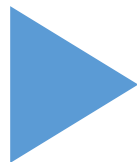
項目	金額	概要
基本運賃	100円	小学生50円 手帳所有者50円 未就学児無料
小学生・手帳所有者 回数券	500円	10枚つづり
乗越券	無料	循環ルートで竜ヶ崎駅を 乗り越す場合に発行

- ・基本運賃を200円から100円に改定
- ・一般向け回数券、各種定期券、乗継券、
1日乗車券、ランドセルチケットを廃止

12 地域公共交通再編の全体像

■地域公共交通再編前

公共交通機関	ルート等	便数等
コミュニティバス	循環ルート	40便 (内外各20便)
	南が丘・長沖線	9便
	長山・松葉線	8便
	長戸・白羽線	8便
	大宮線	9便
	八原線	10便
	佐貫・川原代線	7便
	若柴線	7便
乗合タクシー	市全域	10台



■地域公共交通再編実施後

公共交通機関	ルート等	便数等
コミュニティバス	循環ルート	26便 (内外各13)
	南が丘・長沖線	6便
	佐貫・川原代線	6便
	若柴線	6便
A I オンデマンド 交通	市東部地域	2台
乗合タクシー	市全域	10台

- (1)市中心部をコミュニティバス循環ルートが運行
- (2)市東部地域をA I オンデマンド交通が運行
- (3)市西部地域をコミュニティバス枝線が運行
- (4)市全域を乗合タクシー「龍タク」が運行

需要に応じた適正な公共交通機関の運行

■効率的で持続可能な地域公共交通ネットワークの構築